

事務事業名	農業用河川工作物応急対策事業(玉泉寺頭首工)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	土地改良G	課長名	細木 浩之
施策名	<36>農業の振興	担当者名	菅澤 直樹	電話番号	0854-40-1053
目的	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 土地改良事業 0:1:3:0:0:2	(内線)	2402
基本事業名	<107>農業基盤の整備	項目	中事業 中事業名 農業用河川工作物 0:5:5:5:0:4	業名	応急対策事業
目的	担い手農家・担い手以外農家 意 農業の生産性を維持・向上できるようにする。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25年度～29年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
農業用河川工作物(頭首工)の整備、補強。事業費8,000千円以上100,000千円未満の市発注工事。 ■事業費補助率 市負担率3%(国55%、県42%) ■基本設計 平成25年度 ■計画書作成、事業採択 平成26年度 ■実施設計 平成27年度 ■工事着手～完了 平成28年度～平成29年度(繰越) …製作・据付及び土木工事 ■事業完了 平成29年度

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ■製作・据付及び土木工事 ・工事管理(現場立会等) ・事業完了(検査) ・支払事務 ※H29事業完了	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	基本設計進捗率	%	100	100	100	—
イ	計画書作成・事業採択進捗率	%	100	100	100	—
ウ	実施設計進捗率	%	100	100	100	—
エ	工事進捗率	%	0	90	100	—

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	洪水時氾濫区域内農地所有者	ア	受益戸数	戸	12	12	12	—
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
洪水時氾濫区域内農地の荒廃防止を図る	ア	農地面積	ha	0.0	4.1	4.1	—	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・製作・据付工事 19,086千円 ・土木工事 34,846千円 計 53,932千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	10,282	12,338	51,973
		地方債	千円	300	2,100	1,600
		その他	千円			
		一般財源	千円	56	76	359
		事業費計(A)	千円	10,638	14,514	53,932
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1
		延べ業務時間	時間	80	360	480
		人件費計(B)	千円	313	1,428	1,957
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,951	15,942	55,889

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成24年度から、この国庫補助事業が開始されたが、平成25年度には補助率が5%高上げされる等、拡充がされている。	特になし。	・この事業を実施することによって、農業用施設の治水機能が確保され、地域の安全確保に役立っている。また、地元負担金がないため継続的な実施要望がある。 ・一方、固定堰での要望が多いが、採択要件に合わず、実施出来ない状況である。

事務事業名	農業用河川工作物応急対策事業(玉泉寺頭首工)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	理由	事業実施前に河川工作物の診断を行い、要改修・修繕の判定がされたものについて、事業実施をしている。また、実施設計を精査し、工事発注しているため向上の余地はない。	
D 公平性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	
	理由	治水機能が劣っている河川工作物について、事業実施が行われるため治水上の安全が確保できない。	
A 目的 妥当性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	
B 有効性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	理由	実施設計を精査した上で事業に着手するため、削減の余地はない。	
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	理由	概略設計から事業完了まで、最小限の業務時間で行っているため、削減の余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
	理由	対象地域は、河川工作物が現存している地域であるため限定されるが、定期診断及び申請診断を行い、計画されている。また、地元負担金はない。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		河川工作物について、治水機能の劣っている工作物について、安全を確保するために実施できる事業である。また、受益者負担金がないため、今後も継続的な事業実施が必要である。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																			